



## 2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年4月28日

上場会社名 日華化学株式会社 上場取引所 東 名  
 コード番号 4463 URL <https://www.nicca.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江守 康昌  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部門長 (氏名) 澤崎 祥也 TEL 0776-24-0213 (代表)  
 四半期報告書提出予定日 2023年5月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第1四半期の連結業績（2023年1月1日～2023年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	11,520	△4.2	179	△75.4	281	△69.0	27	△94.7
2022年12月期第1四半期	12,022	—	729	—	905	—	520	—

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 185百万円 (△87.0%) 2022年12月期第1四半期 1,429百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	1.74	—
2022年12月期第1四半期	33.00	—

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年12月期第1四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっており、対前々年同四半期増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第1四半期	54,783	30,200	50.7	1,759.25
2022年12月期	56,122	30,392	49.8	1,771.74

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 27,780百万円 2022年12月期 27,960百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	11.00	—	19.00	30.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	16.00	—	16.00	32.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想（2023年1月1日～2023年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	2.7	2,700	2.7	2,800	△10.6	1,700	△19.6	107.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年12月期 1 Q	17,710,000株	2022年12月期	17,710,000株
② 期末自己株式数	2023年12月期 1 Q	1,918,721株	2022年12月期	1,928,421株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年12月期 1 Q	15,784,679株	2022年12月期 1 Q	15,764,329株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）における世界経済は、ロシアのウクライナ侵攻に端を発した資源価格の上昇に加え、米国での高インフレと高金利の影響による消費の後退など世界的な景気後退懸念の状況が継続しております。また、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症の制限の段階的な緩和によって、経済活動の正常化が進みつつありますが、輸入物価の上昇などによって高インフレとなり、消費マインドは伸び悩んでおり、国内外とも依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような中、当社グループは、2025年までの全社基本ビジョンを「世界中のお客様から最も信頼されるイノベーション・カンパニー」と掲げ、3つの経営軸（「Innovation」「Efficiency」「Sustainability」）のもと、激変する経営環境をビジネスチャンスへと昇華し、社会からますます必要とされる価値を提供する事業に注力して持続的成長を目指します。そのために「輝け、カガクで。」という企業パーパスのもと、3か年中期経営計画『INNOVATION25』（2023-2025）を掲げ、5大戦略「事業構造の大転換」「メリハリのある投資」「生産性改革」「サステナブル経営の推進」「大家族主義の進化」の推進に取り組んでまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は11,520百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益179百万円（同75.4%減）、経常利益281百万円（同69.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は27百万円（同94.7%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、文中の各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおりません。

#### (化学品事業)

売上高は8,310百万円（前年同期比6.2%減）、セグメント利益は237百万円（同62.3%減）となりました。欧米アパレルの在庫調整並びにコロナ急拡大に伴う中国の低稼働の影響による需要減により、繊維化学品の売上が大幅に減少し、新規ビジネス獲得などがありましたが、減収減益となりました。

#### (化粧品事業)

売上高は3,076百万円（前年同期比5.6%増）、セグメント利益は386百万円（前年同期比22.6%減）となりました。当社デミコスメティクスにおいては、美容サロンの来店客数減による市況悪化の影響を受けました。一方で連結子会社においては、DEMI KOREA CO., LTD.における販売や山田製薬株式会社における受託事業は好調に推移いたしました。また、デミコスメティクスでの戦略的なプロモーション投資等により利益は減少しました。

#### (その他)

売上高は133百万円（前年同期比46.9%減）、セグメント利益は16百万円（同4.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,339百万円減少し54,783百万円となりました。この主な要因は、受取手形、売掛金及び契約資産が1,191百万円減少したことによるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、1,147百万円減少し24,582百万円となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が1,387百万円、賞与引当金が438百万円減少した一方、流動負債のその他（主に前受金）が1,008百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計につきましては、前連結会計年度末に比べ、192百万円減少し30,200百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が272百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月10日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,052	7,358
受取手形、売掛金及び契約資産	10,435	9,243
商品及び製品	6,093	6,030
仕掛品	949	923
原材料及び貯蔵品	4,363	4,137
その他	962	1,114
貸倒引当金	△1	△0
流動資産合計	29,855	28,807
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	13,147	13,166
機械装置及び運搬具（純額）	3,004	2,880
土地	5,352	5,364
その他（純額）	907	807
有形固定資産合計	22,411	22,219
無形固定資産		
その他	399	409
無形固定資産合計	399	409
投資その他の資産		
その他	3,461	3,348
貸倒引当金	△5	△1
投資その他の資産合計	3,455	3,346
固定資産合計	26,266	25,975
資産合計	56,122	54,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,544	5,157
短期借入金	5,168	5,593
未払法人税等	481	288
賞与引当金	788	350
役員賞与引当金	17	4
その他	2,987	3,995
流動負債合計	15,987	15,388
固定負債		
長期借入金	5,170	4,603
退職給付に係る負債	3,368	3,394
株式報酬引当金	160	163
その他	1,043	1,032
固定負債合計	9,742	9,194
負債合計	25,729	24,582
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,898	2,898
資本剰余金	2,951	2,951
利益剰余金	21,006	20,734
自己株式	△1,449	△1,441
株主資本合計	25,407	25,142
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	558	525
為替換算調整勘定	2,194	2,301
退職給付に係る調整累計額	△199	△188
その他の包括利益累計額合計	2,553	2,637
非支配株主持分	2,432	2,419
純資産合計	30,392	30,200
負債純資産合計	56,122	54,783

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
売上高	12,022	11,520
売上原価	8,132	7,922
売上総利益	3,889	3,598
販売費及び一般管理費	3,160	3,418
営業利益	729	179
営業外収益		
受取利息	6	9
受取配当金	2	3
持分法による投資利益	16	1
為替差益	74	—
通貨スワップ評価益	51	16
補助金収入	0	70
その他	39	36
営業外収益合計	191	138
営業外費用		
支払利息	9	8
為替差損	—	22
その他	6	5
営業外費用合計	16	36
経常利益	905	281
特別利益		
固定資産売却益	19	1
補助金収入	124	—
特別利益合計	143	1
特別損失		
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	1,048	281
法人税等	486	225
四半期純利益	562	56
非支配株主に帰属する四半期純利益	42	29
親会社株主に帰属する四半期純利益	520	27

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	562	56
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△33
為替換算調整勘定	933	151
退職給付に係る調整額	13	10
その他の包括利益合計	867	128
四半期包括利益	1,429	185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,261	111
非支配株主に係る四半期包括利益	168	73

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,857	2,913	11,770	251	12,022
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	1	1	16	18
計	8,857	2,914	11,771	268	12,040
セグメント利益	629	499	1,128	15	1,144

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,128
「その他」の区分の利益	15
セグメント間取引消去	16
全社費用（注）	△430
四半期連結損益計算書の営業利益	729

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年3月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他（注）	合計
	化学品	化粧品	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,310	3,076	11,387	133	11,520
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	40	40
計	8,310	3,076	11,387	173	11,560
セグメント利益	237	386	623	16	639

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、設備請負工事を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	623
「その他」の区分の利益	16
セグメント間取引消去	△1
全社費用（注）	△459
四半期連結損益計算書の営業利益	179

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。